

2020年7月9日

東北大学大学院医学系研究科・医学部
株式会社 Fam's

東北大学大学院医学系研究科・医学部と株式会社 Fam's が「母子ヘルスケア医科学共同研究講座」を設置

胎児期からの母子愛着研究と科学的証拠に基づく新たな「母子愛着ケア」の確立
および Fam's 製品「ファミズベビー™」の効果検証の実施へ

東北大学大学院医学系研究科・医学部(宮城県仙台市)と株式会社 Fam's(東京都渋谷区)は、少子高齢化先進国日本の持続的な社会の成長発展に資するため、「母子ヘルスケア医科学共同研究講座」を設置しました。産婦人科学、胎児病態学、神経科学、情報工学(AI)などを専門とする教授2名、客員教授2名、講師1名が所属しています。

本講座では、母体と赤ちゃんの関係に注目し、胎児期からの愛着形成について研究を進めるとともに、新しい愛着ケア法の構築も行います。新しい愛着ケア法では、母子の適切なコミュニケーションによる愛着ケア、マッサージ、手足を動かしたスキンシップを通じ、母子のストレスとそれに起因し子育てで問題となる「孤立・ワンオペ育児」や「愛着障害」、うつや育児ノイローゼなどの育児に関する悩みを解決するためのシステムについて開発研究を進めます。家族、地域も含めた心身のヘルスケアと健全な発達成長、女性を取り巻く家族と社会の在り方に関する新たな課題を取り上げ、ヘルスケアを中心に解決を支援、母子環境の改善に向けた取り組みを進めます。

また、皮膚バリア機能やそれを介した皮膚疾患抑止効果の基礎研究、特に赤ちゃんのアレルギーマーチ抑止*¹ や、アトピー性皮膚炎予防改善効果のメカニズム、製品のバリア効果の実証評価のための臨床評価研究を行います。

【講座概要】

研究題目： 母子ヘルスケア医科学研究

研究目的： 母子関係の形成に関する基礎研究とエビデンスに基づく母子愛着ケア法の確立、およびスキンケア用品の効能評価と私的利用に向けた母子等に向けた評価と教育、啓発活動研究

研究内容： 胎児期からの母子関係の愛着形成に関して基礎研究を行い、得られたエビデンスに基づく新たな母子愛着ケア法の確立を行い、心身の生育などへの効果を明らかにする。一方でスキンケア用品の効能評価と至適利用に関する研究を進め、母子等に向けた情報発信、教育研究を通じて少子高齢化に伴う社会課題解決に資するための社会的啓発活動を展開する。

【用語解説】

※1 アレルギーマーチ

乳幼児期のアトピー性皮膚炎を始まりとし、続いて食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎と、次々にアレルギーが出現すること。

【お問い合わせ先】

(講座・研究に関すること)

東北大学大学院医学系研究科

母子ヘルスケア医科学共同研究講座

講師 笠原 好之(かさはら よしゆき)

電話番号： 022-717-7575

Eメール： kasa@med.tohoku.ac.jp

(取材に関すること)

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

電話番号： 022-717-7891

FAX 番号： 022-717-8187

Eメール： pr-office@med.tohoku.ac.jp